



年 組 名前

道新で  
ワークシート小売りや外食  
「脱プラ」加速

## マックは紙製ストロー導入 ■フォークやめる「コンビニ」も

小売りや外食業界で、「脱プラスチック」が加速している。外食大手の中には、ストローを原則、紙製に切り替える動きも出てきた。環境に配慮した素材にした

り、使用量を減らしたりするだけでなく、プラスチック製フォークの配布を取りやめるコンビニもあり、削減効果や消費行動への影響に注目が集まる。

4月施行のプラスチック資源循環促進法は、使い捨てプラスチック製品を年5

以上提供した事業者に削減策を義務付けている。日本マクドナルドは今月7日から紙製のストローや木製のスプーンなどを全国の店舗で順次導入し、年間約900店のプラ削減につながる見通し。スターバックスコーヒーは店

外食・小売りの  
主な脱プラスチック対応

|                     |                                     |
|---------------------|-------------------------------------|
| マクドナルド              | 7日から順次、紙製のストローや、木製のスプーン、フォークなどに切り替え |
| スターバックス<br>コーヒージャパン | 店内利用の場合、冷たい飲み物にふたをせず提供              |
| すかいらーく<br>ホールディングス  | 紙製ストローを採用。持ち帰りや宅配用には木製フォークやナイフ      |
| セブン-イレブン            | 植物由来の素材を使ったスプーンなどを提供。一部弁当容器を紙製に変更   |
| ファミリーマート            | フォークの配布を原則廃止し、代わりに竹製の箸を提供           |
| ローソン                | 持ち手部分に穴を開けたプラ製フォークなどを配布             |

内利用の場合、冷たい飲み物にプラ製のふたを付けずに提供している。

ファミリーレストラン「ガスト」などを運営するすかいらーくホールディングスは今年1月から、バイオマスプラスチックのストローを紙製に変更。持ち帰り用のスプーンなども木製に切り替えており、広報担当者は「紙製容器の導入も検討している」と話す。

2022年10月5（水）朝刊 全道版 10ページ

①マクドナルドとファミリーマートでは、どのような「脱プラ」の取り組みをしているか。記事を参考に書きなさい。

②あなたができる「脱プラ」の取り組みを考えて、ひとつ書きなさい。